

本ばこ

—新刊教材・図書紹介—

「日本語の教材や図書に関する新しい情報がほしい」という海外の先生方の声をよく聞きます。このコーナーでは、最近出版された日本語教材や参考書を中心に紹介していきます。誌面の制約上、一回に多くの本を紹介できませんが、「海外の先生にとって使いやすい教材」「授業や研究の役に立つ本」、また、「知っていると便利な図書・資料」などを取り上げます。

※データ凡例 1 著者 2 出版社 3 刊行年月 4 ISBN 5 判型・ページ数 6 定価 7 その他

「教える人のための文法」解説書

『初級日本語文法と教え方のポイント』



データ

1 市川保子 2 スリーエーネットワーク (〒101-0064 東京都千代田区猿樂町2-6-3 (松栄ビル))
TEL.03-3292-5751 FAX.03-3292-6195 URL.
www.3anet.co.jp 3 2005年4月11日 4 4-88319-336-5 5 A5判462ページ 6 2,100円

からベテランの教師まで様々な段階の教師が参考になることができます。

本書では、日本語教育の初級レベルで扱われる文法項目の中から69項目を取り上げています。文法項目は、一般の初級教科書の提出順にほぼ沿って並べてありますが、どの項目からでも読み始めることができます。

各文法項目の解説の構成は、「会話文」「学習者」がどこが難しいか、よく出る「質問」「学習者の誤用例」「説明」「指導法あれこれ」「指導のポイント」の順になっています。

具体的には、まず「会話文」で、取り上げる文法項目が実際にどのような会話文で使われているのかが、自然に近い会話の流れの中で紹介されます。次に、学習者がよくする質問や困難に感じる点が紹介され、さらに学習者の実際の誤用例が提示されます。こうした流れの中で、教師として特に考えなければならないポイントが明らかにされます。

続く「説明」では、各文法項目についての意

味と用法の説明がわかりやすく簡潔に解説されています。前述の学習者の質問への回答が得られるとともに、

文法の知識を整理することができます。

▽学習者の質問や誤用から文法を考える

本書は日本語を教える人のために書かれた文法解説書です。これまで日本語教師のための文法解説書には、日本語研究に基づいた詳細な解説書から、教科書の文法項目を効果的に教える方法を紹介する実践に即したもので、様々な種類のものが出版されています。この本は日本語研究に基づいた文法解説を含みながら、日本語学習者の実際の質問や誤用に着目し、具体的な解説と指導法を簡潔に提示した内容となっています。従って、これから日本語を教えたいと思っている人、日本語を教え始めた人、もう一度文法を整理したいと思っている人など、新人

▽具体的な指導法を考える

この本の後半には、「指導法あれこれ」「指導のポイント」など指導に関する解説があります。筆者自身の経験を踏まえた具体的な解説で、教師経験の浅い人にもわかりやすい内容になっています。また、指導の際に注意するポイントが明記されているため、授業準備の際に参考にすることができます。

また、巻末には主要初級教科書との対応表が付いていますので、授業前、授業後に参考にすることができます。便利です。

目次	
まえがき	003
本書の使い方	005
1 「は」へです	012
2 「の」	015
3 動詞文	020
4 係属句	028
5 存在文	034
6 い形容詞(全形)	043
7 い形容詞(半形)	045
8 動詞の活用	050
9 動詞のナ形	058
10 助詞	062
11 指示語「こ」「そこ」	067
12 「よ」「さ」「は」	074
13 つづ	079
14 「は」	085
15 「は」	090
16 「は」	095
17 「は」	100
18 「は」	105
19 「は」	111
20 「は」	117
21 「は」	123
22 「は」	131
23 「は」	136
24 「は」	144

23 ~らしい

A: 田中さん、仕事はたすかですか。
B: そうらしいですね。
A: 本当ですか？
B: 当然、よく知りませんが、どこかに勤めているようです。バスの中でとぎとぎ見かけますから。

学習者の疑問に答える、よく出る質問。

- 「(前)が(後)らしい」と「(前)が(後)のようだ」とは同じ意味か。
- 「(前)が(後)らしい」と「(前)が(後)のようだ」とは同じ意味か。
- 前二語の両方とも「らしい」が使われる。
- 「(前)が(後)らしい」と「(前)が(後)のようだ」とは同じ意味か。

学習者の疑問に答える。

- 「らしい」は形容詞で、主語が人か動物か、あるいは物かによって使い方が異なる。
- 「らしい」は形容詞で、主語が人か動物か、あるいは物かによって使い方が異なる。
- 「らしい」は形容詞で、主語が人か動物か、あるいは物かによって使い方が異なる。
- 「らしい」は形容詞で、主語が人か動物か、あるいは物かによって使い方が異なる。

説明

ある動詞に「らしい」と「のようだ」を添えて「～らしい(動詞)」と「～のようだ(動詞)」を比較すると、「～らしい」は「～のようだ」よりも、主語が人か動物か、あるいは物かによって使い方が異なる。

●「らしい」の意味

「らしい」は形容詞で、主語が人か動物か、あるいは物かによって使い方が異なる。

●「のようだ」の意味

「のようだ」は形容詞で、主語が人か動物か、あるいは物かによって使い方が異なる。

1. 形容詞「らしい」

天気予報で「明日は雨が降る」と言っているのを聞いて、「明日は雨が降るらしい」と言っている。

2. 形容詞「のようだ」

「明日は雨が降る」と言っているのを聞いて、「明日は雨が降るのようだ」と言っている。

日本人の生活や習慣を映像から学べる

『ビデオ講座日本語 新・日常生活に見る日本の文化』



データ

1企画・構成 氏家研一 2東京書籍(〒114-8524 東京都北区堀船2-17-1) TEL.03-5390-7579 FAX.03-5390-7582 URL.www.tokyo-shoseki.co.jp 3全4巻各15~20分 4NTSC 各10,500円 PAL 各18,900円 5教師用手引き付

これは、日本の文化や習慣などを学ぶためのビデオ教材です。日本人のホストファミリーの家に住んで大学に通うアメリカ人の留学生が主人公で、この留学生とホストファミリーなど周囲の人々との交流や日常生活の場面が取り上げられています。この教材を通して、初級、中級の日本語文型や、人間関係の違いによる日本語の使い方、非言語コミュニケーションについても学べます。教材は、「ホストファミリーの家」「大学で」「レストランで」「アルバイト先で」という題名の全4巻で、各巻20分程度の長さです。3巻目の「レストランで」というビデオを少

し詳しく見てみましょう。ここでは、レストランでおしぼりとお冷やが出ること、おつりの出し方、定食などのメニュー、料理や、料理の出し方など、日本の生活文化や習慣がわかります。また、家族同士の呼び方、レストランでの注文をするときの会話、「食べれる」「見れる」などの省略形など、様々な日本語を知ることできます。日本の文化紹介に使えるほかに、スクリプトを使った聞き取り練習や、画面から会話を想像するなど様々な日本語の練習にも使うことができます。全体を通して見るだけでなく、テーマに応じて必要な場面だけを見て使うこともできます。

この教材は、各場面で、アメリカの文化や習慣と日本のそれとの違いに特に焦点を当てているのが特徴です。使うときには、この点に留意し、各自が、自分の文化と比べてどうなのかという視点で見る必要

があるでしょう。この教材には、ビデオテープとスクリプトのほかに、「効果的な使い方」についての解説が付いているので、授業の参考にするといいでしょ。



レストランで定食が運ばれた場面

日本語学習に適したクラス環境作りに

『人と人をつなぐ日本語クラスアクティビティ 50』

データ

1中村律子、浅見かおり、金子広幸、宮崎妙子 2アスク語学事業部(〒162-8558 東京都新宿区下宮比町2-6) TEL.03-3267-6866 FAX.03-3267-6868 URL.http://www.ask-digital.co.jp/ 32005年3月3日 44-87217-569-7 5A5判151ページ 61,890円

クラスの中での人間関係は学習全体に大きな影響を与えることとなります。本書はクラスでの人間関係づくりや協力的な学習雰囲気づくりに注目したアクティビティ集です。この本は1.「アクティビティを始める前に」2.「アクティビティを行うにあたって」3.「人と人をつなぐアクティビティ」の三部構成です。

1と2では主にアクティビティのねらいや実施するにあたっての注意事項などについてですが、3では「ほぐす」「知り合う」「協力する姿勢を築く」「クラスの一体感を高める」「仲間への共感を呼び起こす」「自己肯定感を高める」「多様性を感じる」「五感で伝え合う」など計8種類50個のアクティビティが挙げられています。たとえば、新学期が始まってすぐの段階で、ク

ラスメンバーがお互いのことをまだよく知らず、なんとなく緊張しているとき、「ほぐす」アクティビティをすると、お互いの緊張がほぐれ、速くリラックスした雰囲気になれるでしょう。ほとんどのアクティビティに必要な日本語運用力は初級レベルですが、中級の力を必要とするものも含まれています。

アクティビティ「No.3 並んで、並んで」を見てみましょう。アクティビティの実施条件がひと目でわかるように、タイトルの横に日本語レベル、参加人数、所要時間が分かりやすいアイコンで表示されています。

本文にはアクティビティのねらい、文法項目、必要な道具、具体的な人数、時間のほか、進め方の手順、実施

のポイント、バリエーションも紹介されています。

付録にはすぐ使える「ワークシート集」や「初級主要テキスト対応表」「文法項目別さくいん」「レベル別さくいん」も付いているので、便利です。



「人間関係づくり」を目指した地域の日本語教室の実践
にんげんかんけい めざしちいきにほんごきょうしつじっせん

『やってみよう参加型学習』
さんかがたがくしゅう

データ

1 むさしの参加型学習実践研究会(杉澤 子、山西優二、伊東祐郎、野山広、宮崎妙子、吉村多恵子、河北祐子、山辺真理子) 2 スリーエーネットワーク(P.11の「データ」)

参照) 3 2005年1月25日 4 4-88319-309-8

5 A5判 136ページ 6 1,260円

近年、日本に定住する外国人が増えています。日本も多文化共生社会を迎えようとしています。日本に暮らす外国人の声に耳を傾け、「先生」と「生徒」という関係ではなく、同じ地域に暮らす対等な「市民」としての人間関係を作っていくために、地域の日本語教室はどのような貢献ができるのか。この本は武蔵野市の日本語ボランティア・グループが『参加型学習』の手法を用いて日本語教室の中で「人間関係づくり」にどのように取り組んでいったか、その実践研究の成果を理論と実践の両面からまとめたものです。

理論編では、まず『参加型学習』とは何か、具体的にどんな活動があるのか、『参加型学習』によってどんなことが達成できるのか、そ

の手法を日本語教育の中にどのように取り入れていくことができるのかなどについて理論的に説明しています。そこではファシリテーター(引き出し役)としての「教師」の役割の重要性が強調されています。

実践編では『参加型学習』の4つの代表的な手法、「部屋の四隅」「フォトランゲージ」「いしとこさがし」「2頭のロバ」の具体的な実践例が紹介されています。それぞれの活動をどのように進めるか、活動後の振り返りをどのように行うか、教師(ファシリテーター)がどのような役割を担うのかなどが詳しく説明されています。

この本に紹介されているのは、日本国内の日本語教室での実践例です。その理念と活

動例はさまざま。また、国や地域で働く日本語教師にとってのも役に立つものだと考えら

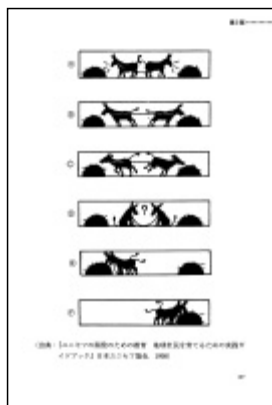
れます。どうすれば地域に暮らす人々(日本人を含む)と学習者の間に「人間関係づくり」ができるか、協同で日本語学習が進められるか、そして教師はその過程にどのように参加できるかを考えるためのすぐれたガイドブックです。



P. 73



P. 105



P. 107

自習でも授業でもコミュニケーションを考えるために

『日本語Eメールの書き方』

データ

1 築 晶子、大木理恵、小松由佳 2 ジャパンタイムズ(〒108-0023 東京都港区芝浦4-5-4) TEL.03-3453-2013 FAX.03-3453-8023 URL.http://bookclub.japantimes.co.jp/

3 2005年1月1日 4 4-7890-1184-4 5 B5判

136ページ 6 1,680円

Eメールは、手紙ほど形式にとらわれずに気軽に書くことができます。しかし、見知らぬ人や目上の人にお願いのメールを出すようなときは、どう書けば失礼ではないのか悩むものだと思います。

この本は、海外の学習者にも日本語教師にも便利な教材です。中級以上のレベルを対象としています。

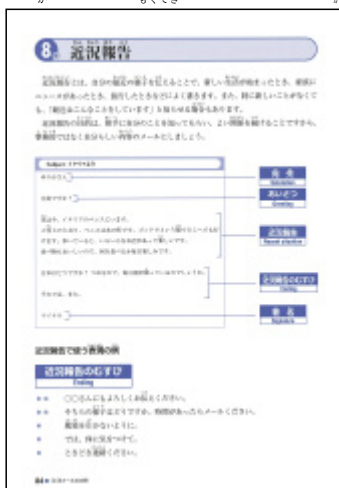
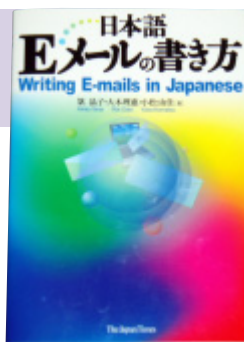
Part 1がメールについての基本説明(メールで使う基本的表現や件名のつけ方など)、Part 2が文例集になっています。Part 2は目的別に15章に分かれています。例えば「誘い/お願い/お礼/お詫び/断り/質問/近況報告/進学に関するもの/ビジネスに関するもの」などです。

Part 2の各章では、まずメール例の脇に基本構成が示してあります。その下に、よく使う便利な表現が載っています。次のページには、メールが4~9例載っています。それぞれのメールについて、書かれた時の状況、丁寧さの度合い(低・中・高)、書き方のヒント、表現や単語(英語・中国語・韓国語訳つき)が載っています。自然な日本語でEメールを書くことを目的に

した場合は、自習や授業の手順についても紹介されています。

この教科書を使って、日本と自国の文化や慣習を比較し考える力を養うこともできるでしょう。例えばメールが書かれた時の状況だけを見て自分でメールを書いてみます。そのあと学習者同士で比較し、更に教科書に挙

がっているメール例と見比べて、なぜそのような書き方になっているのか考えます。日本語のメールに特徴的なことは何か、母語での書き方と何が違うのかを考えることも大切なことだと思います。



P. 84



P. 85

P.11 ~ 13 は国際交流基金の以下の日本語専任講師が図書を選び、分担して紹介文を執筆しました。

久保田美子、向井園子、王 崇梁、木谷直之、長坂水晶(執筆順)